

研究課題名	免疫チェックポイント阻害薬投与症例における免疫関連肺炎の発症率および重症化症例の予測因子に関する後方視的研究
研究の意義・目的	近年新しいがん治療として免疫チェックポイント阻害薬（以下ICI）が使用できるようになりました。ICIの副作用にヒトの免疫機能を介して起こる免疫関連有害事象があります。これまでのがん治療薬と違い予防が難しく、いつ頃起こるのか、どのくらいの頻度で起こるのかなど不明なところがあります。副作用のなかでも特に免疫関連肺炎（以下irAE肺炎）は比較的頻度が多く、時に重篤化するため亡くなる場合があります。ICIの治療をより安全に受けもらえるように、当院でICI治療を受けたがん患者さんにおいて、irAE肺炎の発症頻度、irAE肺炎の重症化に関わる因子、irAE肺炎発症と治療効果について明らかにすることです。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ~ 2028年8月
研究協力を お願いしたい方 （対象者）	2014年7月～2023年8月の間にがんの確定診断がついて大阪公立大学医学部附属病院でICIの治療を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報： 年齢、性別、診断名、がん種、癌の組織型、Stage、Performance status、既往歴、内服薬、喫煙歴、放射線治療歴、血液検査結果、胸部X線・CT画像所見、ICI投与薬、投与日、投与回数、肺炎治療方法、ICIの効果、治療開始後に疾病増悪した日、死亡日、肺炎以外の免疫関連有害事象
試料・情報を利用する者の範囲	この研究は大阪公立大学医学部附属病院化学療法センター（臨床腫瘍科）と呼吸器内科のみで行います。 研究責任者：大阪公立大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学 金田 裕靖
試料・情報の管理について責任を有する者の研究機関の名称	公立大学法人大阪、大阪公立大学
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学 （担当者氏名）金田 裕靖 電話番号：(06) 6645-3793 メールアドレス：kaneda.hiroyasu@omu.ac.jp